



# 池の子通信

～みんなの笑顔で ひかりかがやく池田小～

甲府市立池田小学校 学校だより

令和3年 1月29日 発行

発行者：学校長 樋川君子

\*かしこく なかよく げんきよく\*

\*あいさつ へんじ せいりせいとん\*

## もうすぐ立春です！



- 3学期が始まり3週間が経ちました。1月もあっという間に「行って」しまいます…。
- 子どもたちは相変わらず落ち着いた学校生活を送っています。いつ授業を覗いても、何気なく廊下を歩いても、学校全体が静かで落ち着いているのです。これは、本校の大きな特徴でもあり、自慢でもあります。子どもたちも先生方も毎日本当によく頑張っています。
- そして2月…今年は2日が「節分」で3日が「立春」です。暦の上ではいよいよ春がスタートします。
- 「節分」はその名の通り、「季節を分ける」ことを意味しています。日本では昔から季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると信じられていたため、それを追い払うための悪霊ばらいの様々な行事が執り行われていました。その代表的な行事が「豆まき」です。「鬼は外、福は内」のかけ声とともに、一年の無病息災を願います。また、豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べる習わしや、焼いた鰯の頭を柵の枝に挿して玄関に飾る習わし等もありますね。切山椒を食べるご家庭もあるでしょう。これは甲府市の大神宮節分祭の名物だそうです。それより何より、最近の子どもたちにとっては、「節分」と言えば「恵方巻」の印象が一番強いかもしれません…
- そして「立春」…旧暦では年の始まりは立春からと考えられており、立春を基準に色々な決まりや行事があったそうです。特に、季節の巡りを生活の一部として取り入れ、季節感を大切にしている日本人にとってはとても重要な日だったと考えられているそうです。
- 学校でも「立春」という言葉を耳にすると、本格的にまとめに入る時期になります。学習面も生活面も次の学年・学校にスムーズに繋がられるよう、一つ一つ丁寧に見直しをしながら充実した学校生活を送ることができるようしていきたいと考えています。
- 保護者の皆様には、感染症対策を始めとし、引き続きご理解とご協力をいただけますようお願いを申し上げます。

### 里帰り訪問をしてください！

毎年、西中学校の1年生が母校を訪問し（いわゆる「里帰り」をして）来年度入学する6年生に向けて、中学校の様子を説明してくれます。今年も8名の卒業生が訪問してくれました。さすが池田小学校の卒業生！説明の方法も内容も態度も全て素晴らしかったです。緊張気味に聴いていた6年生でしたが、今回の訪問で、きっと夢と希望をもって中学校に進むことができると思います。



### スローイング大会実施中！

寒くなってくるとどうしても室内にこもりがちになってしまいますが、子どもたちは休み時間には元気に校庭を走り回っています。この日は体育委員会主催で「スローイング大会2021」が行われていました。今の子どもたちは「投」の力が弱っています。全国でも山梨県でもそういったデータが出ています。それもそのはず、遊びの中で「投げる」という経験が極端に不足しているからです。体育の授業だけではなく、こういった活動を通して少しでも「投げる」動作が、そして何より外で遊ぶ習慣が身に付くことを願っています。



# “食”について考えました!

- 1月24日は給食が始まった日「給食記念日」です。それにちなんで今週1/25～29は「学校給食週間」でした。この「学校給食週間」は全国で行われている取組です。学校給食の意義や役割などについて多くの方に知っていただき、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められたものです。
- 日本の学校給食は、明治22年に山形県の小学校でお弁当を持ってくることができない子どもたちにお昼ご飯を食べさせたのが始まりです。最初の献立は「おにぎり、焼き魚、つけもの」だったそうです。それが時代とともに変化をしながら、子どもたちの生活に則した献立となってきています
- 本校ではこの「給食週間」中、給食委員会による紙芝居や読み聞かせ、劇が行われたり、全校児童が調理員の方々にお礼の手紙を書いたりして、改めて「食」について考える機会を設けました。
- また、この期間中の献立には、山梨県の郷土料理や地場産物が取り入れられていました。中には、それらを初めて食する子どもたちもいたようです。右の写真は1/28の献立です。今はこういったちょっとおしゃれなメニューも提供されています。（味はお子さんに聞いてみてください!）
- 「食」は私たちの生活には欠かせない大事な要素の一つです。私たちの体は「食した物」でできています。毎月配布される献立表を足がかりに、おじいちゃん・おばあちゃんの時代の給食、お父さん・お母さんの時代の給食、そして今の給食と、それぞれの思い出を食卓の話題にしてみるのもいいかもしれませんね。



## 家庭学習へのご協力を!

- 上述しましたように、いよいよ本格的なまとめの時期に入ります。特に学習面については、身につけるべき内容は身につけるべき学年でしっかり押さえる必要があります。そのためには、家庭での学習も欠かせません。
- 本校では年度初めに「池の子 家庭学習4つのポイント」と各学年に応じた「〇年生の家庭学習について」というお知らせを配布しました。
- また、山梨県教育委員会では、平成30年から継続して上の写真にあるような「家庭学習連絡ファイル」を作成し、新入生の1年生と、高学年になる4年生に配布することで、家庭学習への取組の全体的な啓発を図っています。
- 今年度のように、コロナ禍においてはなかなか家庭での学習も落ち着いて取り組むことができないとは思いますが、子どもたちの確かな学力の育成のためには、また、将来の自立に向けた主体性や自主性を育てるためには、子どもたちが自ら進んで学習に取り組む習慣を定着させることが大切です。
- 特に、今の学習指導要領で子どもたちに求められているのは、もちろん基礎的・基本的な知識も大切ですが、それ以上に自ら考え、判断し、それを表現する力、そして主体的に学びに向かおうとする態度です。
- まずは、毎日必ず机に向かう習慣を確立させましょう。そして、日々の宿題にしっかり向き合うことをさせてください。



- 学年によっては「自主学習」にも取り組んでいます。中学校、高校へと進むにつれて、この取組が大きき力となってくるのは間違いありません。
- 保護者の皆様もお忙しい日々ですが「宿題は？」の一声でいいのでぜひ声をかけていただきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

